

Ichiritsu-Press

学校だより
No.63
2010.05



浜松市立
高等学校

〒432-8013 浜松市中区広沢1丁目21番1号 TEL053-453-1105・1106 FAX053-452-9478
URL <http://city.hamamatsu-szo.ed.jp/ichiritsu-h/> [✉ichiritsu-h@city.hamamatsu.szo.ed.jp](mailto:ichiritsu-h@city.hamamatsu.szo.ed.jp)

新校長挨拶

山本 秀人



4月から、みなさんのお仲間に入れていただきました山本秀人と申します。どうぞよろしくお願
いいたします。今回は初めてですので、少し自己紹介をさせていただきます。年齢は57歳で、浜松
市在住。子供は長男・長女・次女の3人（因みに長女・次女は市立高校卒業）です。他に両親も健
在で、今どき珍しい(?)7人の大家族であります。趣味というほどでもないのですが旅行が好きで、
毎年一度は家族と出かけています。民間時代は金融機関に勤めており、本部業務と支店業務を約半々
経験させていただきました。支店業務で言えば、支店長業というのも傍から見ると楽ではない商売でして、扱っ
ているものがお金だけになかなか大変で気を使う仕事でした。本部では色々な業務を経験させていただきましたが、
人事部での人事異動や社員研修等の仕事が通算16年と、もっとも長い職務でした。

入学式で、新入生に「将来に向けて」ということで、次のようなお話をしました。『後藤静香(せいこう)さん
の「第一歩」という詩を引用し、どこまで行くつもりか、どこまで登るつもりかによって、踏み出す一歩の大き
さが決まる。3年後に本校を卒業し、また次の世界に歩み始めるとき、どんな一歩を踏み出すのだろうか。本校に在
学する3年間で、自分の将来のおおよその方向性を見つけてほしい。また、そのための手伝いをさせていただき
たいと思っている。』と申し上げました。「高等学校が、大学などへの単なる通過点に過ぎなくなっている。社会で
働いて生きていくための能力や態度が高校卒業の段階で身に付いておらず、学校から社会・職業への移行が円滑に
行われていないことが、現在の学校教育の最大の課題である。」との中教審のご指摘もあります。(もちろん、「文
武両道」を実践し、校門一礼や礼儀など全人教育を徹底している市立高校には、この指摘はあてはまりませんが・・・)
金融機関という職種から、色々な仕事の会社や経営者の方とお話する機会がありました。また、長く民間企業で採用・
新人研修に携わった者として、大学のみならず、もう一つその先の社会人としての出口(職業)まで見越した進路
指導等に、何某かお役に立てれば大変嬉しいと考えています。微力ながら一生懸命に頑張ってみますので、皆様方
のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

新任式 ・ 入学式

4月5日に新任式が行われ、下記の11名の先生方をお迎え
しました。また、翌6日には入学式があり、414名(男子
169名、女子245名)の新入生を「チームいちりつ」に迎え
ました。



転入職員の紹介

やまもと	ひでと	山本 秀人 (校長) 浜松信用金庫より
かわし	しんじ	川島 慎二 (教頭・地歴公民) 浜松南高より
よこやま	しげる	横山 秀 (教諭・理科) 浜松南高より
すやま	のりとし	須山 功豊 (教諭・地歴公民) 県立中央図書館より
い	ひろゆき	飯田 博之 (教諭・地歴公民) 市教委より
さ	きくや	猿田 貴久也 (教諭・地歴公民) 高台中より
の	かよ	野中 香代 (教諭・英語) 浜松湖東高より
ふ	いづみ	富士盛 和泉 (教諭・国語) 浜松東高より
は	ゆき	早水 有紀 (非常勤講師・地歴公民) 浜松南高より
やす	はじめ	保井 元 (非常勤講師・情報) 静大大学院生
さ	めぐみ	匂坂 恵実 (非常勤職員・事務) 浜松医科大学より

新入生宣誓

暖かな日差しが、木々や草花をやさしく包みこむ季節となりました。本日、
私たち414名は、この浜松市立高等学校の一員となれたことを大変嬉しく、誇
りに思います。中学よりも高度になる授業、本格的な部活動、多彩な学校行事。
今日から始まる新たな生活の全てが楽しみです。3年間の内には、乗り越えるべ
き試練も多くあるでしょう。しかし、今日出会った414名の新しい仲間となら、
磨き合い、目標に向かって歩いていくことができると思えます。
校長先生をはじめとする先生方。先生方のご指導のもと、私たちは何事にも精
一杯取り組んでいきます。今はまだ未熟ですが、立派な市立生へと成長できる
よう、日々努力していきたいと思えます。温かく見守ってください。

私たちは、浜松市立高等学校の生徒としての自覚と誇りを持ち、今はまだよ
く分からない「誠・愛・節」の意味するところに、少しでも近づけるよう生活
して参ります。そして、多くの経験を通し、自らを成長させる3年間とすること
をここにお約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

平成22年4月6日 新入生代表 山田友梨 (19HR・雄踏中学出身)

共学化3期生の健闘 文武両道を成し遂げ、堅実な成果をあげる

【1】平成21年度卒業生の進路状況

21年度の卒業生は、浜松市立高校男女共学3期生です。下の表1、表2に、過去10年間の大学合格者数・入学者数の推移と、21年度卒業生の主な合格大学を示してあります。国公立大学への合格者数をみると、共学1期生が142名、20年度の共学2期生が162名、そして今回の3期生が182名と習実に増加しています（ただ、3期生の数字には今年度から県立大学に移行した静岡文化芸術大学の合格者を含んでいます）。難関大学については、1期生・2期生の東大・京大といった華々しさはありませんが、名古屋大学に9名の合格者を出し、大阪大学・北海道大学などの旧帝大にも合格しています。共学化以降は、最後までセンター7科目でがんばり通す生徒が多くなり、それがセンター後の国公立受験校の選択幅を広げ、国公立の合格者数を増加させている要因となっています。今回のセンター試験は特に国語・数I・物理等で大きく難化したためセンターで失敗した生徒が多くいました。なかには中・後期試験まであきらめずによくがんばり、センター判定をひっくり返して勝利した者もいましたが、この経済状況の影響で浪人を回避してなおかつなるべく地元に近い大学へ、という志向が強かったため、名古屋圏・東京圏の中堅クラスの私立大学へ大きく流れ、そこがえって難化した印象があります。また不況の影響で資格系の学部が人気を集め、特に看護については国公立・私立・専門学校を含めてたいへん苦戦しました。就職はあいかわらず厳しく、ほとんど求人がない状態ですが、今年度の就職希望者については、いずれも自分の希望職種につくことができました。

【表1】過去10年間の現役合格者・入学者数の推移

	国公立大学合格者	国公立大学入学者数	私立大学入学者数	国公立短大入学者数	私立短大入学者数	専門学校入学者数	就職	
							公務員	一般企業
平成12年度	35	30	200	7	51	57	5	8
平成13年度	40	37	200	7	58	65	4	9
平成14年度	60	57	196	3	49	62	4	8
平成15年度	48	45	203	10	44	72	2	6
平成16年度	60	53	219	4	44	49	4	4
平成17年度	52	47	219	3	45	58	6	4
平成18年度	59	56	249	4	30	37	2	4
平成19年度	142	124	214	3	9	27	1	3
平成20年度	162	139	186	4	7	14	2	3
平成21年度	182	154	187	2	11	15	2	3

【表2】平成21年度卒業生の主な合格大学

()内は人数

名古屋大学(9)	北海道大学(1)
大阪大学(1)	筑波大学(3)
千葉大学(3)	横浜国立大学(6)
お茶の水女子大学(1)	名古屋工業大学(1)
奈良女子大学(2)	金沢大学(1)
静岡大学(28)	静岡文化芸術大学(31)
浜松医科大学(2)	静岡県立大学(11)
首都大学東京(4)	京都府立大学(1)
横浜市立大学(2)	早稲田大学(4)
上智大学(2)	明治大学(7)
立教大学(3)	法政大学(15)
中央大学(8)	東京理科大学(15)
青山学院大学(7)	立命館大学(45)
同志社大学(6)	関西大学(3)

※21年度の国公立大学合格者数には今年度から県立に移行した静岡文化芸術大学を含みます。

【2】浜松市立高校進路課の取り組み

浜松市立高校は、「文武両道の規律ある進学校」です。ただ単に、いい大学への合格を目指すのではなく普段の規律を重んじ受験を通しての人間力の向上に努めています。難関国公立大学に合格した生徒の多くは、勉強だけでなく部活や学校行事に一生懸命取り組んだものが多く、高校生活をしっかりと全うすることが自分の進路実現につながることを示しています。それぞれの生徒が、各自の最高を目指し、そしてその進路希望が100%達成できることを目標に進路指導の組み立てを行っています。

下の表3に、4月に実施しました在校生の進路希望調査の結果を載せておきます。1、2年生については、ここからさらに自己を見つめ、3年生は今抱いている夢を実現できるようにしていきたいと考えます。

【表3】参考：平成22年度 在校生 進路志望調査 集計結果(4/15実施)

	国公立四大	私立四大	国公立短大	私立短大	専門学校	留学	進学未定	就職	全く未定
1年	308	21	1	0	9	1	49	1	25
2年	351	21	2	0	12	0	15	8	2
3年	322	48	4	3	13	3	11	3	0

転退職職員の紹介

伊藤 茂昭(校長)	退職
坪井 俊三(教諭・地歴公民)	退職
阿部 郁(教諭・国語)	退職
永田 友美(教頭)	新居高(副校長)へ
大谷 真弓(教諭・理科)	浜名高へ
磯貝 直樹(教諭・地歴公民)	市教委へ
田中 久裕(教諭・英語)	大平台高へ
鈴木 貞良(教諭・地歴公民)	天竜中へ
中澤 昌代(事務・主任)	南区役所へ
堀 せつこ(非常勤講師・国語)	城北工業高へ

ありがとう

坪井俊三

(長きにわたって本校の教育に尽力されながら、風邪でうまく声を出すことができないとのことでやむを得ず随任式を欠席された坪井先生から、原稿を寄せていただきました。)

勤め人にとり人生の節目の一つ定年が今春やってきました。県立を二校経て、市立高校に赴任したのは昭和56年(1981)ですから、市立在職は29年となります。その間さまざまな出来事がありましたが、大きなものは校舎の大改築(平成6年完成、校舎群と校庭の位置が入れ替わり景観が一変)と男女共学化(平成17年)の二つでした。学校を取りまく環境は大きく変化しましたが、そこで学んだ生徒の皆さんの姿勢はかわりありませんでした。志が高く何事にも意欲的でひたむきでした。そうした生徒と出会ったことが誇りであり、楽しい思い出になっています。

これからは健康に留意しつつ、「一宮」と城館跡を訪ねての諸国行脚を続けたいと思います。最後に皆さんの御多幸と市立高校のますますの発展を祈念したいと思います。

1)年)部

入学式から合唱大会まで、あわただしい毎日が続きましたが、元気に学校生活を送っている皆さんを見て、頼もしさを感じます。いよいよ萌葱祭。ご家族やお友達を招いて、皆さんの学校生活を共有できる時間です。おおいに盛り上がり、楽しみましょう。

そろそろ学校生活にも慣れ、自分で時間を使う余裕が出てきた頃ではないでしょうか。同時に、部活動や学校行事と勉強を両立する大変さも感じていることでしょう。使える時間は、皆、平等に与えられています。自分の時間をどう使うかは、皆さんが決めることです。自分の信念に基づいて、後で後悔しない使い方をしてください。

校歌に「我を極めよ」という一節があります。自分を見つめて「我」を確立する旅は、始まったばかりです。3年後、自分の足で歩んでいけるよう、ともに前進していきましょう。(1学年主任 佐藤)



4/28 富士サファリパークにて (校外研修、車窓より)

2)年)部

高校入学から早くも1年以上が経ち、後輩たちを迎える立場になりました。学習・部活動に打ち込んできたこの1年間で自分自身の高校生としての過ごし方というもの確立してきたのではないのでしょうか。

2年生となった今年、我々2年部では「毎日を大切にする」という学年目標を掲げました。毎日朝起きて登校、授業、部活動、下校して家庭学習。ある意味平凡な毎日の繰り返しかも知れません。

しかしそんな平凡な毎日でも1日1日を大切にし、繰り返していくことにより知らず知らずのうちに確実に力がついているものです。

1日くらい遊んでも、という気持ちのすきが後々取り返しのつかないことになるかもしれません。「継続は力なり」。毎日が勝負です。(2学年主任 坂本)

4/28 東山動物園にて (校外研修)



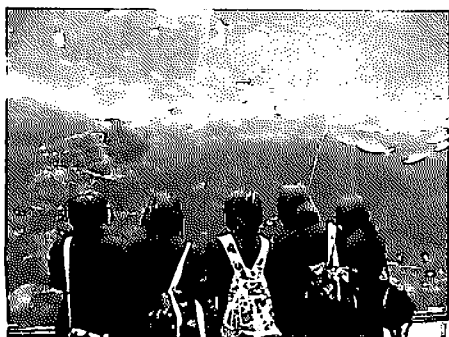
日常風景

3)年)部

インターナショナルクラス

3年生の春がスタートしました。緊張感を漂わせ高校生活への期待に胸ふくらませていた1年の春、高校にも慣れ学校生活への意欲と充実感が感じられた2年の春、そして進路を現実のものとして身近に感じている今年の春は、どんな決意で迎えることができたでしょうか。今年の学年目標は「自己目標の達成」です。「自己実現への礎・挑戦」と続き3年生は高校生活の総決算の1年であり、自分の将来に大きな影響を与える1年であることを肝に銘じて生活して欲しいと思います。

新学期が始まって数週間、朝集会では速やかな行動による集合や静かに話を聞く姿勢、朝学習ではリスニングやプリントなど真剣に取り組む状況など、落ち着きのある学校生活がスタートできたと思います。しかし、これから部活動、行事等あわただしい時期がくると予想されますが、心乱すことなく地に足をつけ1日1日を着実に過ごして欲しいと思います。(3学年主任 宮本)



4/28 名古屋港水族館にて (校外研修)

インターナショナルクラスも今年で4年目を迎えます。本年度は男子1名、女子3名、韓国、ブラジル、アメリカ国籍の4名が市立生としてスタートを切りました。入学式後に誓約書をみんなで読み上げ、校訓「誠・愛・節」のもと「市立生」として3年後に卒業することを確認しました。高校生活に慣れようと、前向きな意識で取り組んでいます。授業でも4名という少人数を生かし主体的に取り組む姿勢には、頼もしいものを感じます。

教室の場所は別のクラスと離れていますが、行事に於いては萌葱祭を除き、1年10組と一緒に参加をしていきます。他クラスとの合同の授業、行事、部活動を通して、多くのものを吸収するとともに、このクラスからも多くのものを発信することで本校の生徒の視野が広がるきっかけにもなってほしいと望んでいます。

また、今年も昨年同様、入学直後からインターナショナルクラス出身の2、3年生が様子を見に教室まで足を運んでくれました。何人かがポルトガル語の授業にもボランティアで参加をし、1年生の理解を助けてくれています。先輩達の市立生らしい気遣いは新1年生インターナショナルクラスの生徒にとって非常に心強く、ありがたいものです。今年も、昨年から行っているインターナショナルクラス出身者による交流会(定期テスト最終日などに設定)を行う予定です。

2年次からは一般のクラスに合流して学ぶこととなります。そのことを意識し、学習面・生活面での基本的な生活習慣を確立して欲しいと思います。生徒たちにとって、ここで学んでよかったと思える3年間のスタートになるよう願っています。(担任 河合)

全国大会出場報告

合唱部

34HR 佐竹よね
(白須賀中学出身)

3月20日から3日、福島県で開催された声楽アンサンブルコンテスト全国大会に混声13人で出場し、優良賞をいただきました。まだまだ課題もありますが、全国という大舞台上、自分たちらしい演奏をすることができました。今回の経験を生かし、コンクールや7月17日に行われる定期演奏会に向けて、勉強との両立を忘れずにさらに実力をつけたいと思います。ご声援ありがとうございました。



なぎなた部

31HR 池田京子
(笠井中学出身)

3月21日、22日に行われた第5回全国高等学校なぎなた選抜大会に出場しました。全員にとって初の全国の舞台ということで不安もありましたが、強豪校の選手とも気後れすることなく対戦できたと思います。結果は団体が2回戦まで、個人は1回戦までとなりましたが、今後に向けての良いスタートを切ることができたと思います。今回見つけた課題に取り組み、自信をつけて8月のインターハイに臨みたいと思います。



TOPICS

サイクルマナー教室

4月12日、新入生に対してサイクルマナー教室を実施しました。あいにくの雨で講堂での開催となりましたが、自動車学校の指導員さんからは自転車事故の事例を紹介していただき、交通指導員さんからは実際に経験した高校生の自転車事故のお話をいただきました。

これらのお話を心に刻み、事故のないように登下校して欲しいと思います。



合唱大会

5月13日、本校講堂にて合唱大会が開催されました。結果は以下の通りです。

- 3年の部 一位 31HR 「倭積み歌」
二位 34HR 「ずいずいずっころばし/Janger」
三位 33HR 「I Will Follow Him "Chariot"」
2年の部 一位 26HR, 二位 21HR, 三位 25HR
1年の部 一位 17HR, 二位 19HR, 三位 14HR



優勝演奏 (31HR)

ケータイ安全教室



携帯マナー教室

4月14日、全校生徒を対象として携帯マナー教室を実施しました。携帯電話会社の講師の方をお招きし、携帯電話の使用に関する安全とマナーについて学びました。

使用する生徒の皆さんは正しい使い方を身に付け、有意義なツールとして使用してください。

薬学講座

4月21日、全校生徒対象の薬学講座が行われました。本校学校医の野田先生から、はしかという病気とそのワクチンであるMRワクチンについて学びました。「ワクチンを接種するのは、周りの大切な人を守るためである。」ということ、再認識しました。

ユースオリンピック2010 アジア地域予選大会出場

昨年400mの日本代表としてアジアユースゲームズに出場し、見事優勝を果たした35HRの大石真功君(富士田子浦中学出身)が、今年第1回大会が行われるユース五輪のアジア地域予選(5月22、23日、シンガポール)に派遣されることになりました。4月27日に社行会を行い、大会での健闘を全校で応援しています。

浜松市立高校文化祭「萌葱祭」のご案内

今年のテーマは「昴」

【日時】

6月11日(金) 校内発表
(一般の方の入場はできません)

6月12日(土) 一般公開
(9:00~15:00/受付終了14:00)

【入場の方法】

☆中学生・高校生

制服を着用し、身分証明書の提示が必要です。

☆一般の方

本校はチケット制です。入場時に本校指定のチケット(無料)を提示してください。チケットは本校事務室にて配布しております。その際、お名前等のご記入をお願いいたしますので、ご承知願います。

(詳細は本校までお問い合わせください)

☆生徒のご家族の方

生徒から親展印の押されたチケットが渡されます。

(親展印チケットは、希望した生徒のみに5月末に配布されます)

☆小学生と本校卒業生

チケットは要りません。卒業生の方には入場時に記名等をお願いしておりますので、ご承知ください。

